

白杵市公立学校のあり方に関する基本方針（案）に関する意見募集結果

1. 閲覧期間（募集期間） 令和6年1月24日（水）から令和6年2月22日（木）
2. 意見提出人数 47人
3. 意見提出件数 145件
4. 提出意見の概要と意見に対する考え方

【ご意見の内容についての分類】

①案の修正（6件）、②参考となるご意見（9件）、③質問（6件）、④その他・ご要望等（124件）

※お寄せいただいた意見等の取扱い

- ・今回のパブリックコメントと関連しない意見等については公表していません。
- ・意見等の公表により、個人や団体が特定される恐れがある場合、その一部を削除しています。

番号	分類	質問 ページ	ご意見	ご意見に対する考え方
1	①	1	様々な課題も指摘されています。 <意見・質問>様々な課題も指摘されています。とは誰からの指摘だと考えているのか。何かのアンケート結果からか？	様々な課題については、初等教育分科会資料に記載されています。「指摘」という表現については、「あげられています」と表記します。
2	①	2	これからの社会をしなやかに生き抜く白杵っこを育成する学校づくり <意見・質問>1ページ「はじめに」を示すように「白杵市の未来をたくましく拓き、社会をしなやかに生き抜く、白杵っこを育成する学校づくりに」にすべきではないか。	ご指摘のとおり、「白杵市の未来をたくましく拓き、社会をしなやかに生き抜く、白杵っこを育成する学校づくり」と表記します。
3	①	3	「新型コロナウイルスの感染拡大など先行きが不透明な状況もあります。」 <意見・質問>新型コロナウイルスは5類になっており、この表現は古いのではないか。「新型コロナウイルスの感染拡大などによって、社会生活や学校現場は混乱し、子どもたちのコミュニケーションや学習環境を混乱させるなど先行きが不透明な状況もありました。」ということではないか。	ご指摘のとおり、「世界的規模で平和や環境問題への対応を迫られるなど先行きが不透明な状況もあります。」と表記します。
4	①	3	自分と他者との関りを意識し <意見・質問>意識するだけで良いのか。「自分と他者との関係性を大切にしながら」の方が、その後の「それぞれの思いが響き合う教育を目指しています。」につながるのではないか。	ご指摘のとおり、「自分と他者との関係性を大切にしながら」と表記します。
5	①	5	以上の課題を整理しながら、文部科学省が示す「学級数を基準とした適正規模の定義」等を参考に、白杵市における適正規模の基準を検討し、その定義について提示します。 <意見・質問>適正な規模の考え方のまとめが、この2行で終わっているが、考え方のまとめとなっていないのではないか。今から検討していきますと言うのであれば、（1）白杵市適正規模の考え方の検討経過ではないか。内容からタイトルのつけ方が問題ではないか。	適正規模の基準については、次項（5. 適正な規模の基準について）で示しています。P5の最終行に「次項で提示します。」と表記します。
6	①	11	小中一貫教育・小中一体教育の推進 <意見・質問>一貫教育と一体教育との違いがわからない。注釈をつけたらどうか。白杵市が考えている一貫教育と一体教育の考え方を明記すべきではないか。	ご指摘のとおり、注釈を記入します。
7	②	4、10	中学校の統廃合の話の時、保護者への説明があまりにも急に一方的だったこと、話し合いというより、決まったことの報告だったこと、時期（タイミング）がとて、前向きに考えられる時間がなくなったこと（制服をつくる…など考えると）等、あまりいい思いはしませんでした。是非、当該（？）の保護者、地域、子どもを巻き込んだ時間にも余裕のある議論をお願いしたいです。	基本計画案の作成にあたり、その内容については、対象となる学校の保護者、地域住民及び教職員に説明を行います。
8	②	5	項目によっては、小学校に当てはまらない、反対に、中学校には当てはまらないものがあります。（小）なのか（中）なのか、両方なのか明記してください。（以下5ページ）	基本的には、小学校と中学校の両方について記載をしています。ご意見は今後の参考とさせていただきます。
9	②	1	市内の校舎の老朽化は安全面から気になるし、学習環境としても適切とは思いません。今後、方針にあった適正配置における学校の統廃合をいずれすすめるのであれば、借金をしてお金をかけてでもモデル校となるべき校舎建築をしてはどうかと思います。2階建て、広いグラウンド、細かな設備など、長い目で。	今後の様々な検討のなかで、ご意見は今後の参考とさせていただきます。

番号	分類	質問ページ	ご意見	ご意見に対する考え方
10	②	10	半面、地域への影響について、学校がなくなると地域の過疎化や衰退によって置き去りになる地区ができないか心配です。矛盾しているようですが、中心となるモデル校を運営しながら、周辺の小さな学校の良さと繋げていく体制ができればと思います。	今後の様々な検討のなかで、ご意見は今後の参考とさせていただきます。
11	②	全般	特別支援を必要とする子どもたちが保育園・幼稚園から増えているのが気になります。小学校での教室、教師が足りないこと、教材がそろわないこと、子どもや保護者への対応などの現場の声をぜひ聞いてほしいと思います。	特別支援教育については、白杵市学校教育指導方針に詳しく記載されていますので、本基本方針には記載しておりません。ご意見は今後の参考とさせていただきます。
12	②	5	私は小規模校で楽しかったし、学んだことも多くありました。たくさんの意見を集められるようにWeb回答を追加するとよいと思います。	Web回答について、メールでの提出は可能と考えます。Web入力については、検討させていただきます。
13	②	全般	パブリックコメントを広く募るなら窓口、郵送、FAXに加えWeb入力をしてほしいです。	Web回答について、メールでの提出は可能と考えます。Web入力については、検討させていただきます。
14	②	11	案の行数を用紙の端に明示していただきたいです。	ご意見は、今後の参考とさせていただきます。
15	②	11	窓口持参、郵送、FAXに加え、メールでの提出も認めていただきたいです。	メールでの提出は可能と考えます。ご意見は、今後の参考とさせていただきます。
16	③	1	「超スマート社会をしなやかに生き抜く」というのは「生き抜く」ではなく「生き合う」ではないでしょうか。	言葉の表現については、ご意見としてお伺いします。
17	③	全般	全体的に見て、統廃合ありき、という考えが感じられた。まず、「〇〇の視点」というのはなぜ、「〇〇の声」ではないのか疑問に思う。地域・保護者・子ども・教職員等広く意見を集めていない。「子どものため」というなら子どもの声や視点がないのはなぜか!!	言葉の表現については、ご意見としてお伺いします。公立学校のあり方検討委員会は、地域・教職員・保護者代表など様々な分野から検討委員に参画していただいております。また、基本計画の作成にあたり、その内容については、対象となる学校の保護者、地域住民及び教職員に説明を行います。子どもの視点や声については、我々大人が責任をもって、子どもにつけたい力や学びの実態を踏まえて、子どもたちのための教育環境の整備を行うべきものと考えます。
18	③	3	教育委員会では、目指す学校教育の実現のためには、〈意見・質問〉いったい「目指す学校教育」は何を示しているのか。3ページの間に書いてある内容の何をめざしているのか。	白杵市の目指す学校教育については、基本方針の3ページに記載しています。また、白杵市学校教育指導方針（白杵市HP掲載）に詳しく記載しています。
19	③	10	通学距離については、小学校は徒歩により概ね4km以内、中学校は徒歩及び自転車により概ね6km以内とします。 〈意見・質問〉小学校1年生の足で4kmを歩いた時に、何分かかると思っているのか。1時間以内で歩けると考えているか。小規模校で小学1年生の児童が1人で1時間、荷物を持って、徒歩で通学する状況は、健康上や安全上、適正と考えているのか。適正の根拠を示してほしい。毎日、行き帰りだけで8キロ歩く小学一年生の負担を白杵市は考えないのか。精神的身体的虐待を市がすることにならないか。中学校は1km以上で自転車通学を認めている学校もあります。自転車通学の基準はどこにありますか。また、中学生が自転車通学するなら、小学生の基準をどのように考えていますか？	4kmの考え方として、義務教育諸学校等の国庫負担等に関する法律施行令第4条（適正な学校規模の条件）を参考にしています。また、白杵市立学校遠距離通学児童生徒通学支援に関する規則において、遠距離から通学する児童生徒の支援に必要な事項を定めています。
20	③	10	ただし、適正配置により通学する学校への距離が4km、6kmを超える場合は、スクールバス等通学に関する支援を行います。 〈意見・質問〉現在、統廃合によりスクールバスで通学している児童生徒で距離がこの範囲以内であれば、支援はなくなるという認識でよいか。	現在の運用は、当時の関係者協議等により定められたものと認識をしています。その定めを遡及することは困難と考えています。
21	③	全般	小規模校の課題を解決する手段の検討は行われてきたのか。基本指針（案）にはその部分が見受けられないが、どう考えているのか。	基本指針は適正規模・適正配置の基本的な考え方を示すものであり、小規模校の課題解決については記載しておりません。

以下につきましては、ご意見・ご要望としてお伺いします。

番号	分類	質問ページ	ご意見
22	④	全般	子供の目線で考えれば統廃合は必然です。一人クラスでは人との付き合い方、団体行動、ライバル心・向上心、リーダーシップなどが育ちません。何より、将来同窓生がいなくて寂しい思いをすることになります。地域住民、特に高齢者は学校がなくなると寂しいと反対する人がいますが、学校がなくても子供がいなくなる訳ではありません。地域住民の感傷的な問題より、子供の将来を第一に考えるべきではないでしょうか。
23	④	全般	統廃合することで、教員不足にも対応できると思います。先生不足や心を病んで休職、退職する先生が多い上に先生になろうとする人も減少している昨今、その対策の為に統廃合を進めるべきではないでしょうか。
24	④	全般	白杵が目指す学校教育「3つのきょう育（郷育・協育・響育）＋今日育」の郷育の農泊体験学習の素晴らしさを肌で感じています。このような取組みを市外に向けてPRすることにより白杵で学ばせたいと思うきっかけの一つになるかもしれません。クラスの最適な規模だけを考えるのではなく、同時に子供の減少に少しでも歯止めをかけられる具体的な対策にはどのような教育環境が必要なのか合わせて考えることが大切ではないでしょうか。
25	④	4	大規模校、小規模校それぞれに良さがあります。特に小規模校の課題となる点に関しては、例えば月に1回程度、他校と交流を持つとか、ICTを活用するとか解決・改善の手立てはあると思います。地域のなかの学校を大切にしたいと思います。
26	④	5	小学校においては、学校教育の基礎となる時期であり「個別最適な学び」を大切にすべきと考えます。過去に複式学級を担任しましたが、子どもたちはそれぞれの学年の立場で学んで成長しました。「多様な発言が引き出しにくく」とありますが、授業展開に全く制約はありませんでした。
27	④	5	教職員数が少なくても、全職員で日課表作成に協力することができます。過去に勤務した2校が存在する小学校でも十分に教育活動を行うことができました。授業の工夫はいくらでもできます。
28	④	5	学校が地域からなくなることによって、地域の子どもたちが地域の身近なことを学ぶことができにくくなるのが問題であると考えます。
29	④	2	「地域や保護者の方々の意見を参考に」を充分聞いてほしいです。また現場で働く「教職員の声」を入れてほしい。
30	④	3	小規模化による運営上の問題だけでなく、合併された後の問題点も記載してほしいです。その問題点は多々あると思います。
31	④	全般	教職員の多忙化、子どもたちの楽しい行事の削減や個に応じた対応を考えると、学校の教職員定数を増やすことが大切だと思います。
32	④	4	「適正な規模」とは、誰に対して適正と考えているのでしょうか？子どもや保護者の側から「適正な規模」とは、一人ひとりで異なるのではなかと考えます。多人数の大規模校で成長し力を伸ばせる子どももいれば、逆に少人数の家庭的な過小規模だからこそ通学し力を発揮できる子どももいると思います。子どもや保護者がそれぞれの規模や特色に応じて選択できる学校は必要だと思います。白杵市内に大・中・小・過小規模の小中学校をしっかりと配置していただくよう強く要望いたします。
33	④	4	小規模校のメリット・デメリットが述べられているが、数ではなく軽重がある。現在の超勤実態をみても、●●小のような（市内では）大規模校に働く教職員に負担がかたよっているのは明らかだ。学校数が減ればその校独自の文化や地域の伝統は一度失われると取り戻せない。文字に表せない「重さ」を考えてほしい。
34	④	5	様々な学校を見たが人数とコミュニケーション能力に差はないと感じる。そう述べる根拠を示してほしい。（誰にとってもわかりやすい）
35	④	5	小中一貫校について まずは、中学校の教師主導の授業を改善してから、今の中学になって不登校の子どもたちのことをなんとかしてからだ!!
36	④	5	8ページのイラストは何を根拠にしているのか示してほしい。

番号	分類	質問 ページ	ご意見
37	④	全般	小規模校のメリットデメリットのみ書いているが中・大規模にもメリットデメリットはある。それを記さないのは統廃合のためとしか思えない。
38	④	全般	人数だけで決まるのか。学校教育は、地域の方、教職員の工夫等・様々な取り組みの中で子どもを育てている。今までも地域との連携や小小連携、ICTの活用、子どものために、小規模の強みを生かしたり、小規模の困難をカバーしたりする取り組みを推進してきたはず。人数によるデメリットのみをもって統廃合を進めるべきではない。
39	④	全般	「今後の予定」に説明とあるが、必要なはずは対話だ。方針を定める前に広く丁寧に地域・保護者・子どもの声を聞いてほしい。私は個人的には、禍根を残すので推進してほしくない。
40	④	全般	子どもは学校だけで育つわけではない。大切なのは地域や保護者のつながり。学校がなくなれば確実にそれらは弱くなる。統廃合は人数のみで推進できるものではない。
41	④	9	●●小が、学級数、児童数が適正規模とされていますが、今の実情を聞いてほしいです。●年生は、1学級●人（●人は支援学級）です。実際は、●人の学級とされていますが、国語、算数以外は、●人で学習をしています。特性のある子、学力が厳しい子が複数いる中で、どんなに気を配っても、1人1人に細やかな教育はできません。子どもたちのために、もう少し、何か工夫や対策はないのでしょうか。考えていただきたいです。
42	④	全般	大人の意見しかどのページも書かれていないようでした。子ども達はどう思っているのか意見を聞く機会を作ってほしいです。
43	④	全般	適正規模・適正配置と言いつても、学校が担う役割は大きく、在校生の人数のみで、統廃合を考えるとはいけないと思う。地域における学校の存在感は大きい。学校がなくなると、とたんその地域の過疎化はすすむ。ますます、子どもたちが地域にいなくなる…負のループだなあと思う。住居環境を整える、就職先を増やす…など市政とタイアップしていくことも必要だと思う。あと、いろんなことの平等と、均一は分けて考えることも必要で、平等は大切だけど均一にしていくことは不要だと思う。それぞれの学校の特性を活かせる学校配置を望む。
44	④	8	白杵市の適正規模について、小学校は複式学級の解消を図る（1学年1学級以上）とあるが、学級担任がきちんと確保されるのか心配。
45	④	13	小中一貫教育で白杵市の学校の足並みを揃えておくと、少子化が進んでも近隣校同士での取組の際に困りがなくなると思う。
46	④	4～5	小規模校も工夫次第で、行事等の集団での教育活動はできると考える。多様な保護者のニーズ、様々な特性をもっている子どもたちにとって、一人ひとりに目が行き届き、個に応じたきめ細かな指導ほど大切なことはないと思う。児童生徒を多様な価値観に触れさせることは、工夫次第。Zoomなどを使って他校の子どもとの交流をしくむなどができる。
47	④	4～5	教職員一人あたりの公務負担は、クラスの人数に比例する。（両方経験して思う）
48	④	4～5	他者を尊重する経験、コミュニケーション能力は、人数が少ない方が育める。一人ひとりと教員が対話する時間が十分確保できるので。大人数だとまぎれる子どもが出る。個性も少人数の方が伸ばしやすい。
49	④	4～5	スクールバスで通う子どもがバスに酔い、体調が悪いまま学習に向かうデメリットがある。また体力低下も著しく見られた。
50	④	7	児童数の基準について…1学級の児童数が35人という規定は、今支援の必要な児童が多い中でとても厳しいです。人数がかえられないのであれば加配をお願いしたいです。

番号	分類	質問 ページ	ご意見
51	④	3	「個別最適な学び」について、指導方法や指導体制の工夫改善やICTの活用により「個に応じた指導」の充実を図るとありますが、ICT活用によって調べることへの抵抗感は本や新聞より低く、楽しく学んでいる子どもの姿が見られますが、反対に情報を吟味したり精査したりして、物事の本質に迫る場面が少なくなっているように感じます。また、本や新聞などへの関心も薄いです。「国語」では調べ物は図書館で図鑑や辞書を使ってという学習があるものの普段はタブレットを使用していれば、定着はしにくいように感じます。子どもたちは、本当にタブレットの必要性を感じているのでしょうか。
52	④	7	児童数の基準についてですが、同学年の児童で編制する学級の定員が35人とありますが、支援学級の子どもを含めないととなると国語と算数以外は40人近くで授業をするのは大変難しく目が行き届きません。人数の見直しをできればして頂きたいです。
53	④	5	課題が全面に出されていますが全てにおいてそうとは言えないと感じました。例えば②の教職員の負担…ははっきり言うと大きな学校の方がきついです。(適正規模の方向性についてそこを理由にしてほしくありません) 教員同士の切磋琢磨は個人の問題で規模は関係ありません。
54	④	5	児童への影響 協働的な学び、多様な活躍の場。成果が引き出されないというより、それは個によると思います。小さな学校の方が合っている子もいます。活躍の機会はむしろ多いと思います。
55	④	5	子どもの数が減る方向ですが、地域の方々をよく話し合うことが大切だと思います。若い人たちが白桦に住みたくなる町造りが必要だと思います。
56	④	5	小規模化、複式学級があることによる課題が書かれているが、大規模には大規模校の課題があり、どちらの学校もその場、その子どもたちに合わせた教育の場しようとしている。教職員の配置のバランスは小規模化以外の原因でおきているという事もあると思う。採用人数などのこと、勤務時間が長くないと業務が終わらないことへの教員への人気のなさにつながっていることもあるだろう。小規模校の方が大規模校よりも超勤はとても少ないので、超勤対策としてはモデル校だなあと感じます。
57	④	10	小中学校の適正な配置となると書かれている通り、まずは通学における課題が生じます。スクールバスの利用となると、・登下校時にこれまで保証されていた運動量が確保できなくなる。・スクールバスの時間に制限されてしまい、時間を優先した教育活動となってしまいます。(帰りの会で、子どもと考えたい、話したい事柄を十分に扱うことができなくなってしまいます。せかせかと動かされ、心のゆとりもなくなってしまいます)などの、児童生徒に関わる課題が多く出てくると予想されます。
58	④	10	人間関係の広がりはあるのですが、校区が広くなることでの懸念点も多くあると思われます。(放課後の過ごし方、生活指導への不安等)多くの課題をどう解消するのか、検討事項はたくさんあると思います。
59	④	10	(1) 児童生徒の通学条件について、●●や●●●など、今の状況でも通学が厳しく、送迎が家庭でできない日は休まざるを得ない人もいます。これ以上通学距離が長くなって、家庭の負担が増えないよう考慮していただきたい。(変更した時に子どものいる地域はいいが、後に子どもが通うようになったら、バスがないなど)
60	④	11	関係者への説明と協議地域の人々と話し合いを充分重ねてほしいです。お互いが納得できるよう、何度も話し合いをして下さい。ある時突然、苦渋の決断などといって統合したりしないようにお願いします。
61	④	5	小規模化及び複式学級であることにより、人間関係の固定化やグループ活動がしにくいなどのデメリットはあると思います。しかし、それだけではないと考えます。(小規模校勤務の経験より)子どもたちがお互いのことをよく分かるため、どんな風に接したらいいかや、声かけの仕方等を考えて学ぶことができます。また、少人数でも協調学習などを取り入れることにより、様々な見方、考え方で学習を進めることができます。教員は、子どもたち一人ひとりに合った細やかな指導を行うことも可能だと考えます。
62	④	4	デメリットがいくつかあげられていますが、そこへの意見です。多様な考えに触れる機会・ICT (Zoomなど)を使うことで可能だと思います。
63	④	4	家庭や地域まで含んだ集団での教育活動は小規模の方がむしろ、できているように感じています。
64	④	4	1人あたりの校務分掌量について。小規模だと分掌の数は増えるが、規模が大きくなると、一つの分掌の数は増えるが規模が大きくなると一つの分掌あたりの業務量が増えるので一概には負担が減るとは言い難いです。むしろ大変なことが多いのではないかと思います。

番号	分類	質問 ページ	ご意見
65	④	4	教員配置（バランス）についてはぜひ、定数を増やしていただきたいです。（難しいのは重々承知の上です…）
66	④	4、10	“メリット” “デメリット” と書かれているが、そのような側面があると思うが、その言葉でくくることには疑問がある。その上で10Pのデメリット解消とあるが、メリットの伸長という視点も必要と考える。近くの学校に徒歩で通うことの大切さ、（体力の保持、地域への愛着、人とのふれ合いの数々）地域の特性を生かした教育の必要性（地域への感謝）などこれからの白柅っ子を育てるには、大切だと感じています。
67	④	全般	「白柅市公立学校のあり方に関する基本方針」と銘打ってはいますが、内容はいわゆる「適正配置」、いえ統廃合に関するものでした。教育の内容や指導方法でないことが残念でした。
68	④	全般	小規模校のデメリットが紙面の多くを割いて取り上げられていましたが、「適正規模」とされた学校の、30人以上の学級のデメリットもあげた方が資料としては公平だと思います。
69	④	全般	特別な支援を必要とする子どもへの配置について触れられていないのが、非常に残念でした。
70	④	全般	子どもが在校中の災害への備えはなくてよいでしょうか。
71	④	1	「多様な価値観」と「コミュニケーション能力」は同じ次元の概念ではないと思うので、並列で書かない方がよいと思います。また、「白柅の未来をたくましく拓く」であれば、「想像力」「体力」を入れた方がよいと思います。1ページ12行～全学校の補修は無理だということでしょうか。含みのある書き方ですね。
72	④	3	「郷土（ふるさと）を愛する心は、発達段階に応じて、より小さい単位である、自分が住む地域から小学校区へと、人やものなどの異体に触れながら育ってくるものだと思っています。（小学校低学年の生活科、中学校の社会科など）その土台があつての「白柅愛」です。小学校校区が広がると土台部分の学習を細かく行うことが困難になると思うのですが。
73	④	3	妥協点を探るという意味合いに受け取れます。「自分の考えと他者の考えをふまえ、よりよい考えを探求できる」という意味合いの方が、「探求型」にあっているのではないのでしょうか。
74	④	4	「適正規模」のエビデンスを示してください。また、下の3行、ちょっと乱暴です。1クラスの人数が多いことによる学校運営上の課題も示すべきです。
75	④	5	①の3項目。合唱は合同学習などで可能あり、合奏ではむしろ人数が少ない方が全員がいろいろな楽器の演奏を体験できるというメリットがあります。6項目め。5人いたら5通りの考えが出てきます。少人数ゆえ、発表力がおのずと鍛えられ、全員が発信できるようになります。また、その後の練り合う時間も十分とれ、全員が1時間で4.5回は発信できます。
76	④	5	②の1項目。教職員のバランスがとれていないのは、小規模校に限らず白柅市全体の問題ではないのでしょうか。3項目。ここにあげられた指導方法の各種は、そもそも、多人数の弊害を少なくするためのものではなかったのでしょうか。5項目。出張（特に各学校1人は出席しないといけないもの）が増えすぎたのが原因だと思われます。7項目。どういうケースがあるのか、よく分かりません。
77	④	5	【児童生徒への影響】1項目。自己主張や他者の尊重は、むしろ小規模校の方ができていると思います。見解の相違ですね。5項目。意欲もあり成長もあります。6項目。大きな集団への適応は、統廃合時も同じことが言えます。8項目活躍の場は、小規模校の方があります。一部の子どもが活躍できるのではなく、全員が何らかの形で活躍できます。人数が多くては、全員が活躍するのは難しいです。
78	④	5	これらの課題は、全職員にアンケートでもした結果なのではないでしょうか。
79	④	6	「白柅市が目指す学校教育の実現」に「適正配置」と「小中一貫教育制度」がどうつながっているのか、いまひとつ見えてきません。
80	④	7	小学校、1学級35人でも多すぎます。パーソナルペースを十分保障することで、落ち着く子どもは一定数います。また、特別支援学級の8人というのも、多すぎます。

番号	分類	質問 ページ	ご意見
81	④	8	(グループ編成の基本) 4~5人は、全員を活動させようとする、多いように思えます。何もしない子どもが出てきがちです。
82	④	10	30人以下学級の実現に、先に取り組んでいただきたいです。
83	④	10	(1) [検討項目の例] の4項目め。「体力低下の対応」は、どの時間に行うのでしょうか。体育の時間もそれ以外の時間もいっぱいいっぱいです。しかも6年間毎日歩いて登校する運動量にはかなわないと思います。
84	④	11	(2) 関係者への説明と協議、基本計画の周知の方法はHPと市報では十分ではないと思います。ケーブルテレビなど、いろいろと媒体によるアナウンスを行ってほしいと思います。
85	④	全般	白杵の子どもたちにとって、本当に大事なことは何なのか、多くの方々の意見を聴き、熟慮していただければ幸いです。よろしくお願いいたします。
86	④	全般	「適正規模や配置」という枠組みでかんがえるのではなく、少子化だからこそ、こども一人一人を大切に教育にお金を投じてもらいたい。過去、1クラス45人の多人数学級があったころ、「適正」という枠で積極的に解消に取り組んだのでしょうか。人数が多すぎると問題は多発し、人数が減るだけで解決する場合も多かったと思います。お金がかかるところは財政を理由に解決してもらえず、こどもの数が少なくなると簡単に学校統合や閉校の話になるのはいかがなものでしょうか。35人以下学級に留まらず、20人~25人学級という規模の方が落ち着いて学習できると思います。
87	④	全般	複式学級には、人的措置をして問題解決すべきだと思います。少人数学校・学級ならではの素晴らしい実践があります。そちらにこそ目を向けて、行き届いた教育環境をサポートする教育行政であって欲しいと願います。人こそ、こどもこそ宝です。
88	④	4	小規模校にはデメリットを上まわるメリットがたくさんあると信じて、地域とのつながりを大事にしてきました。保護者や地域が学校をなくすことを本当に望んでいるかを丁寧に聞きとりをしてほしいです。
89	④	3	学校づくりにさまざまな資料から考えてくれていることが何より嬉しいです。お忙しい中、本当にありがたいと思っています。私も「3つのきょう育+今日育」にはほとんど賛成(一部を除き)です。ですが、このきょう育+今日育」を達成するために考えるべき視点は学校の児童数ではないと思います。一学級の児童数が多すぎることは大きな学校の問題ですが、目指す白杵っこ育成のために必要なのは、学校職員増(支援員さんも含めて)、ゆとり、余裕のある仕事環境。自由や創造ある実践ができる統一や成果、結果を求めない長期的取り組み まなざしだと思います。微力ですが頑張ります。今一度あり方の視点を広げて一緒に頑張っていきたいです。よろしくお願いいたします。学校に子どもたちに希望をお願いします。現場は現場で希望を生むために頑張ります。「白杵っていいなあ」と多くの人に思ってもらいたいです。
90	④	5	私自身も白杵の小規模校出身です。②の課題内容は、何を根拠にしているものなのか気になりました。どちらが良いという答えはないと思いますが、今その地域に住み生活している家庭の意見を大切にしたいです。
91	④	4	小規模校のメリットもデメリットもよく分かります。しかし、小規模校を求めている子、保護者もいます。地域や子ども、保護者の声をよく聞いていただけたらと思います。
92	④	4	適正規模「小規模」「過小規模」それぞれ一長一短だと思います。P4に小規模校のメリット・デメリットがありますが、このメリットをいかすことも大切ではないでしょうか。私もどちらが絶対いいということはありませんが、しっかりとおうちの方の考え、希望を聞きながらすすめていく必要があると考えます。
93	④	5	各課題については、P9で過小規模とされる学校から出されたものなのか。
94	④	8	4~5人程度のグループが適正というのは何を根拠としているのか。

番号	分類	質問 ページ	ご意見
95	④	全般	小小連携の好事例はないのか？いたずらに小規模校の保護者・子ども教職員の不安を煽る書きぶりに疑問を持ちました。
96	④	4	「子ども・保護者の視点」デメリットにおいて「集団での教育活動がでにくい」というのは小規模校に限ったことではないと思います。学校における行事は今とても多く感じています。子どもたちにとって、または地域にとって本当に必要な行事を精選していくべきだと思います。現場でも一番変えていかなければと思いますが、日々の業務に忙殺され考えることができいていません。学校にたくさんのことが求められている中、必要なことを考える時間がほしいと思いました。
97	④	1	小・中学校の小規模化の傾向が、義務教育の機会均等や教育水準の維持・向上の観点から問題とされているようですが、1学級の人数が多い方が、発言の機会、個別指導の機会、活躍の機会など、教育の機会均等という面では課題が大きいと考えます。
98	④	1	「超スマート社会をしなやかに生き抜く」とは具体的にどういうことなのかわかりにくいです。
99	④	3	『個別最適な学びは』、少人数の方が実現しやすいと考えます。
100	④	4	「小規模であることが課題」という前提が、1学級の人数が多いことに課題を感じている現場の感覚とずれていると思います。1学級の人数が多いと、発言が一部の人に偏ったり、発言や活動をしなくても進んでいったりすることがあります。少人数であれば、全員に活躍の場や責任を持って行動する場の確保が可能になります。1学級の人数を減らし、ゆっくり子どもたちや保護者と関わりたいと思っています。少人数であることの課題より、大人数であることの課題を先に解消すべきだと思います。
101	④	5	①の7※複式学級があることの課題として教職員の負担をあげるなら、複式学級解消のために市独自でも教職員を完全配置すればよいと思います。
102	④	6	(2)の②小規模校を問題としながら、突然「小中一貫教育」を打ち出してくることに違和感をおぼえます。
103	④	6	「多様な活躍の機会がなく、個性を伸ばすことが難しい」のは、むしろ大規模校の方ではないかと考えます。人数が少ないからこそ、さまざまな場面で活躍する場をつくることができています。
104	④	10	6の(1)「小学校は徒歩により概ね4km以内」小学生が1時間以上徒歩で通学することは、体力面だけでなく、事件・事故などの心配も大きくなります。
105	④	11	(3)の1つめの○「小中一貫校」になると、職員数は減るのではないのでしょうか。今以上に、意思疎通に時間と労力が必要になるのではないのでしょうか。
106	④	11	今後も意見募集する機会を必ずつくっていただきたいです。
107	④	1	「しなやかに生き抜く」とあるが、1ページ下から3行「今後は、これからの時代を担う子どもたちの生きる力を育む「白杵市の未来をたくましく拓き、超スマート社会をしなやかに生き抜く、白杵っこの育成」と設定し』とある。 <意見・質問>しなやかに生き抜かないといけないのか。苦勞して挫折する中で生きる知恵を見出すこともある。「しなやか」とは何か。定義が示されていない。1ページに「未来をたくましく拓き、超スマート社会をしなやかに生き抜く」と書いている。3ページの教育方針にも同じように書かれ、表紙と矛盾している。表紙に「しなやかに生き抜く」だけがあるのはおかしい。白杵市の教育における「スマート社会」は何を示しているか不明である。「スマート」が必要な理由や「しなやか」に生きなければならない理由を示すべきである。3ページに中央教育審議会答申で「全ての子どもたちの可能性を引き出す、『令和の日本型学校教育』とされているのであれば、「白杵っこの可能性を引き出す学校づくりに向けて」ではないか。

番号	分類	質問 ページ	ご意見
108	④	1	超スマート社会をしなやかに生き抜く <意見・質問>超スマートをしなやかに生き抜くとは？超スマート社会（Society5.0）とは「必要なもの・サービスを、必要な人に、必要な時に、必要なだけ提供し、社会のさまざまなニーズにきめ細かい対応ができ、あらゆる人が質の高いサービスを受けられ、年齢、性別、地域、言語といったさまざまな違いを乗り越え、生き活きと快適に暮らすことのできる社会」と内閣府では考えられている。白杵市の教育現場ではどのように考えているのか？理解できない。先端技術が進んでいる現代、そもそも特定の学校に通うことが必要なのか？特定の学校に通えば「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協調性」が養われるのか。白杵市立公立学校のあり方に関する基本指針（案）ではこの部分が欠如していると考えます。また、教える側の先生の科目や人数については一言も言及していない。こちら、基本方針にはなくてはならないものだと考えることから、基本方針には記載しないのか。
109	④	2	地域の实情に応じた学校のあり方を模索するために、学校運営協議会や地域振興協議会と連携しながら、地域や保護者の方々の意見を参考に取組を進めていきます。 <意見・質問>学校運営協議会や地域振興協議会の内容がどの程度、保護者や児童・生徒、市民へ伝わっていると考えているのか？地域や保護者の意見は参考程度なのか？地域や保護者とともにつくる学校ではないか。
110	④	3	21行「本市においても」29行「教育委員会では」30行「白杵市公立学校の」 <意見・質問>統一すべきではないか。
111	④	3	目指す <意見・質問> 「目指す」は目を指すという差別用語ではないか。教育委員会の方針の中に用いているが良いか。
112	④	4	(1) 適正な規模の考え方 <意見・質問>内容から(1) 適正な規模の考え方ではなく、(1) 小規模校の課題と影響でないか。
113	④	4	②教職員が少なくなることによる学校運営上の課題 <意見・質問>②教職員数が少なくなることによる学校運営上の課題は大分県教育委員会の所管なのか。現状の規模でも白杵市独自で対応していく考えはないのか。また、小規模校を無くせば、バランスのとれた教職員配置が可能なのか。
114	④	5	クラブ活動や部活動の指導者確保が困難となる <意見・質問>学校運営上の課題として「クラブ活動や部活動の指導者確保が困難となる」とあるが、中学校の適正規模を考えるうえで、部活動がふれられていないのは不自然である。部活動は考えずに人数だけで適正規模を考えるのであれば、考え方に明記すべき。また、中学校部活動が子どもたちの成長に及ぼす影響も明記すべきではないか。指導者の都合だけでなく、集団行動やたくましさの育成にも貴重な指導の場所であると考えます。指導者像を明記し、学校運営の中の位置付けを明記すべきではないか。
115	④	6	(2) 適正な配置の考え方 <意見・質問>適正な配置の考え方が書かれていない。白杵市小中学校の配置の考え方を示しているのではないか。そうであるなら、(2) 白杵市学校配置の今後の考え方ではないか。
116	④	7	7ページの表には「学校教育法第81条に規定する特別支援学級」の基準があるが8ページの白杵市の表にはない <意見・質問>支援が必要な子供の学級の基準を白杵市は定めないのか。9ページには支援学級がある。なぜ、8ページの白杵市の表の中に明記しないのか。他市では不登校児童生徒への方針を定めているが、白杵市はないのか。
117	④	10	公立小・中学校の適正な配置については <意見・質問>この文章は、白杵市のことか、一般的なことかわからない。
118	④	10	第一義に子どもたちにとってより良い教育環境を整備する <意見・質問>子どもたちにとって「より良い環境」とは何を言っているのか？わからない。丁寧に「～のように、より良い環境」と市民が見ても理解できるようにすべきではないか。
119	④	10	地域の特性や近隣校との一体教育の取組 <意見・質問>地域の特性とは、学校区内の特性ということでしょうか？「学校と家庭、地域との連携などの状況や近隣校の小中一体教育の取組」と丁寧に記述すべきでないか。

番号	分類	質問ページ	ご意見
120	④	11	小規模特認校のあり方について 〈意見・質問〉検討項目の例が「あり方に関する方策について」となっているが、「市外からの通学の許可のあり方」や「通学手段について」「支援が必要な児童生徒への対応」など、検討すべきことがあるのではないかと。
121	④	5	クラブ活動や部活動の指導者確保が困難となる 〈意見・質問〉学校運営上の課題として「クラブ活動や部活動の指導者確保が困難となる」とあるが、中学校の適正規模を考えるうえで、部活動がふれられていないのは不自然である。部活動は考えずに人数だけで適正規模を考えるのであれば、考え方に明記すべき。また、中学校部活動が子どもたちの成長に及ぼす影響も明記すべきではないか。指導者の都合だけでなく、集団行動やたくましさの育成にも貴重な指導の場所であると考え。指導者像を明記し、学校運営の中の位置付けを明記すべきではないか。クラブ活動や部活動の指導者確保が困難となる」とあるが、中学校の適正規模を考えるうえで、部活動がふれられていないのは不自然である。部活動は考えずに人数だけで適正規模を考えるのであれば、考え方に明記すべき。
122	④	全般	支援学校や支援学級の考え方が書かれていない。適正規模を考える上で、支援が必要な児童生徒の学習環境への考え方は明確にすべきではないか。不登校支援やいじめ対策について、適正規模になればしっかり支援や対策ができると考えているのか。
123	④	全般	「白杵市」「市内」「本市」「教育委員会」と様々な書き方をしており、分業により作成したのであれば、全体を統一する作業をして公表すべきではないか。
124	④	1	「義務教育の9年間は、知識や学力だけでなく、コミュニケーション能力や多様な価値観、社会性、豊かな人間性などをバランスよく身につけていくことが重要です。」 ○この部分に賛成です。これからの社会を創っていく子どもたちには、いろいろな人と交流し、多様な価値観に出会い、豊かな人間性を身につけていくことが大事だと考えます。 ●けれども、そのために小中一体教育を行い、小規模校を統廃合し、通学区域を見直すこと（11ページの検討項目）は最初に掲げた理念に反することだと思います。なぜなら学校の規模が大きくなると、活動する内容がどうしても規制されてしまうからです。学校現場では、学習指導要領に伴い子どもたちに教育しなければならない教育内容がたくさんあります。学力テストの実施に伴い学力の定着のための時間も確保しなければなりません。その中で「コミュニケーション能力や多様な価値観、社会性、豊かな人間性などをバランスよく身につけていくこと」を行うためには、教職員の共通理解を図ったり、子どもたちの特性（支援を必要とする子ども）をじゅうぶんに配慮したりする中で実施される必要があります。小中一貫校や大規模校では、教職員や児童生徒の人数が多いので、場所や時間等がどうしても活動が制限され、マンネリ化してしまう恐れがあります。 ●●小学校では、毎年田んぼ活動を行うことで、高学年が主体的に考え行動する力をつけ低学年に伝えていきます。また地域の人から学び、●●地域の良さを知ることができました。このような活動を通して、今まで白杵の学校は、それぞれの学習の場で「コミュニケーション能力や多様な価値観、社会性、豊かな人間性」を育ててきました。「適正な配置」を実施することで、各校の特色のある学びが実施されなくなると思います。
125	④	5	①②の課題による「児童生徒への影響」 集団のなかで自己主張をしたり、他者を尊重する経験を積みにくく、社会性やコミュニケーション能力が身につけにくい ●小規模校の学校では、子どもが少ないため授業の中で発言する機会が多いので、自己主張する経験を積みにくいことはありません。人数が多い学級の方が、多くの子どもの発言を聞く時間が長いので、自己主張する機会は少なくなります。また、他学年や地域の人とのコミュニケーションをする機会を多くつくることができ、能力を育てる機会も多くあります。 ○また人数が多い学級に比べると、個に応じたきめ細かな支援をおこないやすいので、小規模校では不登校の子ども数が少ないです。
126	④	全般	「教育は、人です。」文科省が示す大枠な定義を実施するのではなく、白杵ならではの、白杵の良さや白杵の人やつながりの良さを生かした教育を実施していただくように、切に希望します。
127	④	2	「地域や保護者の方々の意見を参考に取組をすすめる」という中で、特にその学校に通わせている保護者の方の意見は大切にしてほしいです。
128	④	4	デメリットの「集団の中で、多様な考えに触れ学び合う機会や切磋琢磨する機会が少なくなりやすい」とありますが、人数が多くても考えが偏ることなどしばしばあることです。また、今の子どもたちをみていて切磋琢磨というのは小学校段階では当てはまらない気がしています。
129	④	4	それぞれメリット・デメリットはあるが、子どもたちが自分の住む地域で地域の人とともに学んでいくものに勝るものはないと思います。
130	④	4	「学校行事において、個別の活動機会を設定しやすい。」私自身、小規模校出身です。本当にこの通りで、必ず自分が発表する場が保証されており、活動の場があり、ありがたかったです。

番号	分類	質問 ページ	ご意見
131	④	6	バランスの取れた教職員配置など、最近の●●小でこそそれを感じますが、以前までは常にアンバランスでした。それを何をいまさら言っているのでしょうか。
132	④	6	人数が少ないからこそ、多様な活躍の機会があると思います。
133	④	5	学校内では難しいかもしれないが、地域との関わりの場面が多い学校がほとんどなので、社会性を育てることができると思います。
134	④	4	個別最適な学びは小規模校の少人数の方が、その学びが享受できると思います。
135	④	4	「学年別や…支援体制が構築しにくい」とありますが、今やネット社会です。研究に関しては、調べれば資料はたくさんあります。研鑽を深めれば、それこそ白教研があります。
136	④	4	「小規模化及び複式学級が存在することによる学校運営上の課題」「教職員数が少なくなることによる学校運営上の課題」の根本は、複式学級の解消と教員の不足の解消をすることで解決するのではないのでしょうか。その費用が出せないための、適正配置をうたうなら、「予算不足、人員不足」とははっきり書くべきだと思います。
137	④	4	子ども一人ひとりに応じた指導ができることが、子どもの健やかな成長につながる。
138	④	4	メリットがたくさんあるので、小規模校を残してほしい。
139	④	1	大規模校には大規模校なりの、中規模校は中規模校なりの、小規模校には小規模校なりの良さや課題はあるので、小規模校だけが課題をかかえているとは思いません。
140	④	5	規模が小さいから職員間の交流がしやすく、合同や交代での授業、支援が行いやすいと思います。児童数が少ないからこそ個別の丁寧な支援ができると思います。教職員一人あたりの校務負担は今のままでは厳しいので、規模に応じた分掌の見直しが必要と考えます。(学校独自でなく。)
141	④	5	子ども一人ひとりの特性を共通理解し支援にあたるには、人数による「適正規模」では決められないと思います。やはり教職員増による「人」の力にしかかえられないと考えます。規模に関わらず個別対応が必要な子どもさんが増えています。
142	④	全般	学校規模の適正を問題にしていますが、大規模校の1クラスの人数の多さなどはどうなのでしょう。資料をみると、小規模の学校を統合するための理由づけのようにも思えて不安です。また、意見を出さなかった(機会を知らなかった)方々の声は届かないので、なんとなく公平感がありません。
143	④	全般	小規模校の良さを認めていただきたいです。
144	④	全般	統廃合には、地区・保護者の声に耳を傾けていただきたいです。
145	④	4	学校の適正配置について、児童数や学級数、教職員数などの数値と、その数値から考えられるメリット・デメリットが示されていますが、数値だけで適正な規模を決められるのか、数値を満たす規模ならよいといえるのか、と疑問に思います。●●小学校は、児童数は白杵市の最少で2複式ですが、子どもたちは、海と山と歴史のある●●に囲まれた豊かな環境の中で、●●地区振興協議会と連携して、地域の方々の協力を得ながら、●●花畑づくり、ふるさとまつりでの●●太鼓の披露、海開き参加やカヌー体験、朝市での取材活動など体験的学習を通して、地域を大切にしたいという気持ちを育んでいます。 また、保護者も●●PR活動に熱心に取り組んでいます。11ページ10行目にあるように「小規模特認校」としての取り組みが色々と考えられる学校であると思います。2ページの最終2行にあるように、学校運営協議会や地域振興協議会、地域や保護者の方々の意見を十分に聞きながら取り組みを進めていただきたいです。よろしくお願いいたします。